

TSUKAZAKI HOSPITAL

平成 25 年 1 月 1 日 発行

ビタミン誌

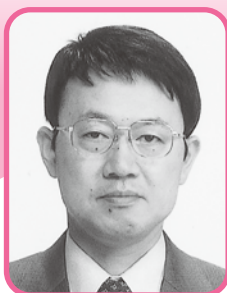
新年号
winter



「冬景色」

メニュー

● 常務理事所感	P 2	● 職員旅行	P 16
● 看護便り	P 3	● お月見会	P 18
● 薬になる食べ物	P 5	● 職員紹介	P 19
● 健康アドバイス	P 6	● アラカルト	P 20
● ちょっと一言	P 9	● 当院のドクター	P 22
● ツカザキヘルパーステーション	P 10	● 学会発表	P 22
● 研修会レポート	P 12	● 患者様の権利	P 23
● 実習体験	P 12	● 三栄会理念・看護部の理念	P 23
● 心臓血管センター	P 14		



常務理事所感

笑う門には福来る

三栄会 常務理事

塚 崎 高 志

新年あけましておめでとうございます。

今春には、長らく皆さまにご迷惑をおかけしながら進めてまいりました新館が完成します。もうしばらくのご理解ご協力をお願い致します。

昨年は、ノーベル医学・生理学賞受賞で山中伸弥教授のiPS細胞が話題になりました。再生医療のすばらしさと、日本人研究者の快挙と謙虚なお人柄に皆が注目しました。近年、テレビや本を通じて様々な分野の専門家のメディアへの登場が増えました。その影響力もあって、一般国民の知識レベルもかなり上がってきていると思われます。

その中の一人、茂木健一郎氏著の『挑戦する脳』を最近手にしました。本書は、「脳がいかに逆境に立ち向かうことから、『創造性』を引き出すか」ということをテーマに書かれていました。いまだに多くの謎をもつ脳の話をも、現実の社会と結びつけて論じてあります。また脳的能力について、「思いもかけないことがあるからこそ、脳は学習することができる」とし、それを「挑戦する脳」と表現されていました。中でも興味深いのは、「笑い」についての考察でした。現代は、人間関係が希薄で、ストレスを抱えこむ人が多く、笑顔も少なくなりがちです。そんな中、お笑い芸人の人気の理由は、無意識に現代人の脳が「笑い」を求めているからなのかもしれません。

そこでこの度は、「笑い」のパワーに注目してみたいと思います。

「笑い」が健康に良いのは誰もが知っていますが、最近ではその効果が医学的に実証されてきていま

す。人間は、健康な人でも毎日体内でがん細胞が発生していますが、私たちの身体を守る免疫システムの一つである、免疫細胞（NK細胞）が、日々がん細胞と戦ってくれています。人は笑うことでその免疫細胞が活性化し、免疫機能を正常化させるということが血液検査などの科学的データではっきりと分かるようになってきました。免疫力を保つには、自律神経（緊張・興奮状態とリラックス状態）のバランスを保つことが重要で、どちらかに偏ると免疫システムのバランスが崩れ病気になるようになります。笑いは、緊張状態をほぐし自律神経のバランスを保つ働きがあります。また、糖尿病患者の血糖値が漫才を見た後に改善されたという結果も出ているようです。さらに、ストレスを感じると増加する唾液だえきの中のホルモン、コルチゾールの分泌が笑うことで減っていくことも分かっています。クスクス笑いから大笑いまで、その種類は様々ですが、NK細胞を増やす意味では、作り笑いでも良いそうです。10数年前から「日本笑い学会」や2005年秋には「笑い療法士」が誕生し、さまざまな角度から「笑い」と「健康」についての臨床研究がすすめられています。「笑い」は副作用のない良薬であり、お金のかからない、いちばん身近な健康法と言えます。

新年を迎え、「笑う門には福来る」の言葉のように、皆さまが笑いの絶えない、より健康な一年をお過ごし下さいますことを切に祈願致しております。

本年もどうぞ宜しくお願い致します。

看護
だより

ホスピタリティ

ツカザキ病院 看護部長 木下 美恵子

新年あけましておめでとうございます。皆様におかれましてはつつがなく新しい年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

今年も総務庁の統計では、152万人の方が成人されるという事ですが、その際、成人のマナーが幾度となく取り上げられております。マナーについては、言葉遣い・立ち振る舞い・おもてなしなど、様々な場面で必要となり、常に心掛けていかなければなりません。現在の医療現場においてもマナー・接遇が重要なものであると考えています。

相手を思い、敬う事はより良い人間関係を築く為に必要不可欠です。人に対する“配慮の気持ち”をあらわすのが『マナー』です。しかし、それを具体的な言葉や態度で示す事ができなければその気持ちは十分に相手に伝わりません。気持ちを伝えるための方法やその社会で決められているルールやしきたりなどを『エチケット』といいます。病院では患者さんの事を本当に大切に思っているのであれば、それを具体的な言動で示していかなければなりません。

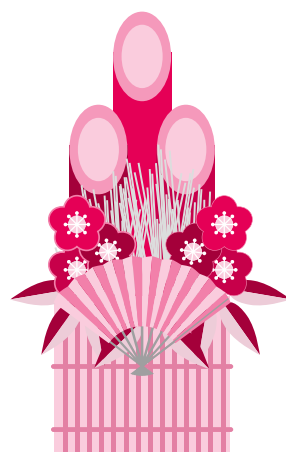
『ホスピタリティ』という言葉をご存じでしょうか？日本語では一般的に“おもてなしの心”と言われていますが、看護の現場では、『ホスピタリティ』について理解することが大切ではないかと思っています。

『ホスピタリティ』の語源は、ラテン語で「hospes（客人を擁護する）」といいます。もともとは古代ヨーロッパの貴族が長旅に疲れた巡礼者達に食事や部屋を提供し、ケガ人や病人を手当する場所を作った事が始まりといわれています。当時は旅人が宿泊する商業的な施設がなく、その後、聖地に巡礼する信者や、遠征する十字軍兵士

が増えると、宿泊に特化した所は「hotel（ホテル）」となり、ケガ人や病人を看護する施設は「hospital（病院）」になったのです。

このように、『ホスピタリティ』とは、相手を思い、心を配って迎え、もてなす事であり、それが、報酬や対価の為に相手につくす『サービス』とは異なる点です。残念ながら、今の医療現場においては、国民のニーズに応えるため多様化し、地方における医師・看護師・薬剤師などの減少も拍車をかけ、理想とする接遇のあり方とはかなりの落差があるのが現状です。しかしながら、見返りを求めることなく対等な立場で相手に尽くす事で、相手の喜びを自らの喜びにできるような人間性が『ホスピタリティ精神』だとすると、医療における接遇のあり方が、まさにそのものであると考えます。

『ホスピタリティ』の語源が示すように、私たちツカザキ病院で従事する者は、心や体を患った人を優しく迎え入れ、そして、元気に送り出す事を自らの喜びにできるよう、努力し続けていく事が大切であると考えています。



看護
だより

糖尿病透析予防サポートチームの 立ち上げと活動内容について

ツカザキ記念病院 外来看護師 松川 恭子

H24.4月から診療報酬が改訂され、「糖尿病透析予防指導管理料」を算定する様になりました。

対象者は

- ①糖尿病で通院・治療中
- ②HbA1c/NGSP値（糖尿病コントロールの国際指標。過去1～2ヶ月間の血糖値レベルの反映）が6.5%以上
- ③降血糖薬やインスリン製剤を使用している者であって、糖尿病性腎症Ⅱ期（尿中にアルブミン・蛋白質が検出、クレアチニン・クリアランス値60ml/分以上）以上の者（現に透析療法を行っている者を除く）

上記①～③に該当する者に対し、医師が糖尿病透析予防に関する指導の必要があると認めた場合、1回/月に限り「糖尿病透析予防指導管理料」を算定します。

それに伴い当院外来において、「糖尿病透析予防サポートチーム」を立ち上げ、5月から活動を開始しています。

要するに、糖尿病三大合併症のひとつである「糖尿病性腎症」になって、透析療法を行わないようにするためにサポートしていくチームです。

活動開始とはいっても、始めたばかりなので、これから皆さまに積極的にアピールしていき、周知してもらおうと思っています。

今の所、糖尿病専門外来の佐藤医師にかかっていて、上記の条件に該当する患者さんを中心に指導をしていく予定ですが、どの方も糖尿病や、糖尿病による合併症、薬剤の事などについて聞きたい事があれば、気軽に外来スタッフに声を掛けてください。

佐藤医師と糖尿病透析予防サポートチームのメンバーで、患者さんの糖尿病コントロールができる様に努めていくのでよろしくお願いします。

佐藤Dr.とチームメンバーの紹介



佐藤Dr.



クラーク
平尾



看護師
打波



看護師
松川



クラーク
嘉納



栄養士
中谷

豆知識

糖尿病性腎症とは、糖尿病性末梢神経障害、糖尿病性網膜症とともに、糖尿病の三大合併症のひとつです。進行すると、腎臓の働きが悪くなり、腎不全という病気になります。

現在透析療法を受ける患者さんの原因疾患の第1位を占めているほどです。

糖尿病になって10年以上経過してから、徐々にたんぱく尿が現れ、やがてネフローゼ症候群となって、浮腫（むくみ）を来し、腎臓の働きが悪くなっていくのが典型的な経過です。

糖尿病による高血糖と高血圧が根本的な原因で、かなり進行してからでないと、自覚症状も現れません。

薬

になる

食

べ

物

体を温める野菜・冷やす野菜

寒～い冬だからこそ体の芯から温まりたいものです。温かいスープやお茶を飲んだり、ほかほかのおでんを食べるなど、温かいものを口にする事で体が温まります。では、みなさんは体を温める食材、冷やす食材があることをご存知でしょうか？

一般的に、夏野菜は体を冷やし、冬野菜は体を温める、といわれています。夏野菜は、水分が多く生で食べるものが多いためです。夏の暑い時、ほてった体を冷やしてくれる作用があり、食べるとスーっとします。一方、根菜類などには体を温める効果がある、というわけです。

体を冷やす野菜：トマト、レタス、きゅうり、なすなど

体を温める野菜：だいこん、かぶ、ごぼう、白菜など



●なぜ、野菜が体を温めるの？

野菜に含まれるビタミンEやビタミンCは、冷え症に効果があるといわれています。ビタミンEは血行を良くする働きと、体内のホルモン分泌を調節する働きがあります。また、ビタミンCには、血液の主要な材料となる鉄分の吸収を促進、毛細血管の機能を保持する働きがあります。

冬野菜に限らず、ビタミンCを含む果物やビタミンEを含む穀物や豆類なども体を温める食べ物なのです。

●体を温める野菜 ～ねぎやしょうがも忘れずに～

体を温める食材として、忘れてはならないのがねぎやしょうがなど。普段は薬味やスパイスとして活躍している食材ですが、血行を促進する効果があり、体を温めるのに優れた食材なのです。



ねぎの白い部分を食べる“根深ねぎ”と葉の部分を食べる“葉ねぎ”があります。ねぎ特有の辛味はアリシンと呼ばれる成分で、血行をよくし体を温める作用があります。葉の部分には、カロチンやビタミンCが含まれ、風邪予防に効果があります。



辛味成分であるジンゲロンやショウガオールには発汗を促す作用があり、冷え症だけでなく、風邪の初期症状の緩和に効果があります。



辛いものを食べると体が熱くなります。その代表がとうがらし。赤とうがらしの他、チリペッパー、カイエンペッパーなど種類が豊富ですが、カプサイシンと言われる辛味成分に体を温める効果があるのです。カプサイシンには、毛細血管の血液循環をよくする働きがあります。また、とうがらしは皮下脂肪の代謝を促進させるため、肥満防止やダイエットにも使われます。

体にいいからといって食べ過ぎは禁物です。野菜はもちろん、お肉やお魚、お豆腐などバランスよく食べて、寒い冬を乗り切りましょう！

健康 アドバイス

潰瘍性大腸炎

ツカザキ病院 消化器内科 田中稔之 Dr.

はじめに

2007年に内閣総理大臣を辞任された安部晋三氏が先日、自民党総裁に就任されました。

このページでは、安部氏が内閣総理大臣を辞職した裏にあったとされる潰瘍性大腸炎という疾患の紹介と各種治療法の説明を行います。

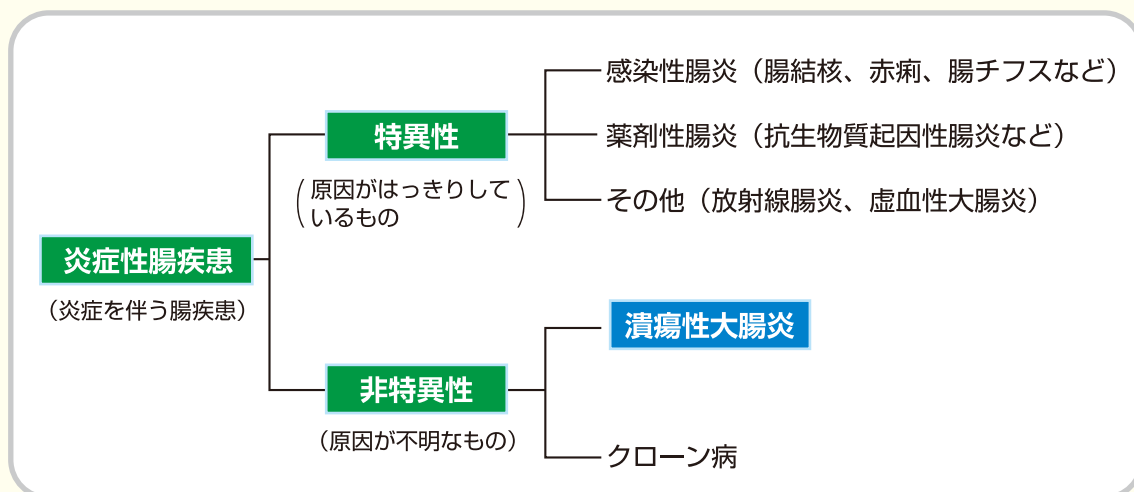
☆潰瘍性大腸炎について

潰瘍性大腸炎は、炎症性腸疾患（IBD）のひとつです。

炎症性腸疾患という聞きなれない方が耳にすると、「え？」となってしまいます。これは食道～大腸、肛門を含めて、様々な「腸」に色々な原因で（もしくは原因不明で）いろいろなところに炎症を起こしてしまう病気です。

その中で潰瘍性大腸炎は原因がはっきりしない、日本では難病に指定されている病気です。名前の如く、病気ができる場所は大腸が中心です。

現在、日本では患者数が増加している疾患の一つです。



☆潰瘍性大腸炎の症状は？

安部晋三氏は一部報道によると、「1日に30回トイレに行ってまだおなかが痛い」といったことがあったそうです。このように症状がきついことにより、日々の生活、仕事に大きく支障をきたします。こういうことが政治家としての激務をこなせなかった理由の一つだったかもしれません。

激しい腹痛と下痢、ひどい時には下痢とともに下血することもあります。

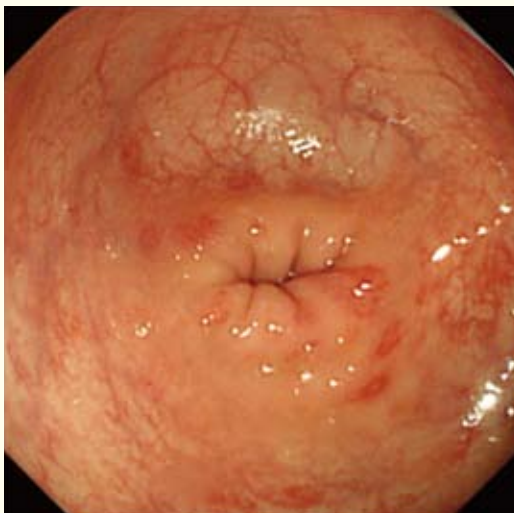
いずれも我慢できるものではありません。こういった症状が出たときはすぐに病院での受診

をお勧めします。

☆潰瘍性大腸炎の治療法は？

原因不明にして、かつ難病に指定されていて、、、確かに現時点では治癒（病気が完全に治ったという状態）という概念は使われませんが、全く手の出せない病気ではありません。難病であるこの疾患は寛解（病気の根本は治っていないが、症状のない状態）という概念への治療を目指すことになります。

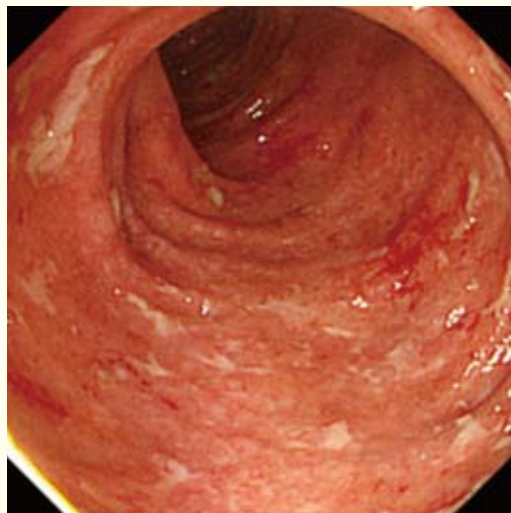
世界中のドクター達がこの疾患について日々研究を行い、様々な治療法が確立してきています。冒頭で原因不明といいましたが、現在もそ



●軽度の炎症

⇒斑状の発赤とただれ

ここまでは症状も数回の下痢、我慢できる範囲の腹痛程度が生じます。



●高度の炎症

⇒全体に広がっている炎症

これでも比較的ましな内視鏡所見ですが、症状は左記よりもかなりひどくなります。

の治療法が増えていっている最中と推測します。

おおざっぱになりますが、治療方法は基本的には内服治療です。それでも症状が改善しない時があります。その際は手術療法となります。

①内科的治療

先ほど述べたとおり、現在は潰瘍性大腸炎を完治させる内服治療はありません。症状をなくすことがメインとなってきます。

●5-アミノサリチル酸薬（5-ASA）製薬

サラゾピリンと、ペンタサやアサコールです。

内服や浣腸（お尻から薬剤を注入すること）にて大腸に到達させ、炎症を抑える働きがあります。あの安部晋三氏はアサコールを使用し、寛解状態になったと各種報道機関が伝えております。

アサコールはいわゆる新薬です。

ゼリア新薬工業より平成21年12月に発売されたもので、同社によると、完治は難しいが抗炎症作用が働き下痢などの症状を抑える効果があるとされています。

安倍氏は「これを飲んでいる限りは大丈夫。」とおっしゃっていたようです。

●副腎皮質ステロイド薬

プレドニンです。

内服、浣腸、点滴にて投与を行います。強力に炎症を抑える作用があります。

●血球成分除去療法

透析に似た治療法となります。

血液中の異常な白血球を取り除く治療法です。

LCAP（白血球除去療法：セルソーバ）、GCAP（顆粒球除去療法：アダカラム）があります。副腎皮質ステロイド薬で効果が得られない患者さんの活動期の治療に用いられます。

●免疫調節薬

イムラン、ロイケリン、サンディミュン、プログラフです。これらの薬剤はステロイド薬の無効の患者さんや、ステロイド薬が中止できない患者さんの治療に用いられます。

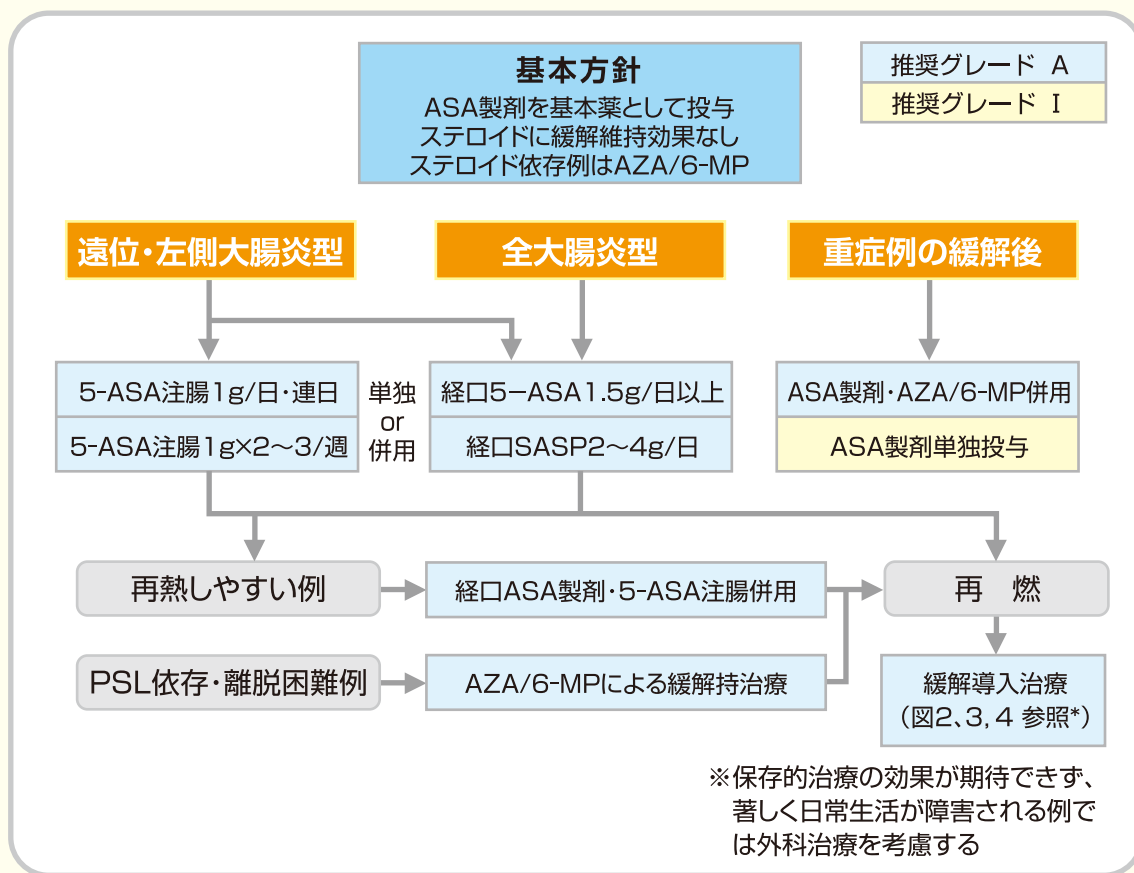
●抗TNF α 受容体拮抗薬

レミケードです。クローン病（炎症性腸疾患）や関節リウマチの患者さんでも使用されている注射薬ですが、潰瘍性大腸炎でも効果が期待できる薬剤です。

上記のように多数の内科的な治療法が確立されています。

当院では、上記のうち5-アミノサリチル酸
薬（5-ASA）製薬を使用し、軽症の患者様を

外来にて治療を行っております。



②外科的治療

内科的な治療が効果がない場合など、下記の場合は手術を行います。

- 大量出血がみられる場合
- 中毒性巨大結腸症（大腸が腫れ上がり、毒素が全身に回ってしまう）
- 穿孔（大腸が破れる）
- 癌化またはその疑い
- 内科的治療に反応しない重症例
- 副作用のためステロイドなどの薬剤を使用できない場合

手術としては大腸の全摘が基本となります。現在では肛門を温存する手術が主流です。

ツカザキ病院では内科にて治療できる範囲のみ外来にて経過観察をさせていただいております。

難病に指定されるこの病気、重症の方は是非大学病院など大きな病院での専門治療が必要と考えております。理由として、治療選択肢が格段に多いことを上げさせていただきます。さらに、治験薬（まだ日本では正式採用されていない薬）の使用を許可されている点、薬の使用方法が難しい点（副作用が多い等）をあげます。

この病気は一生付き合っていかなければなりません。その期間中の投薬変更や調節は長年の研究、経験にて微調整されているものばかりです。

最新治療に力を注いでいる、大阪市立大学、兵庫県立医科大学は消化器内科医であれば誰もが知っている施設です。

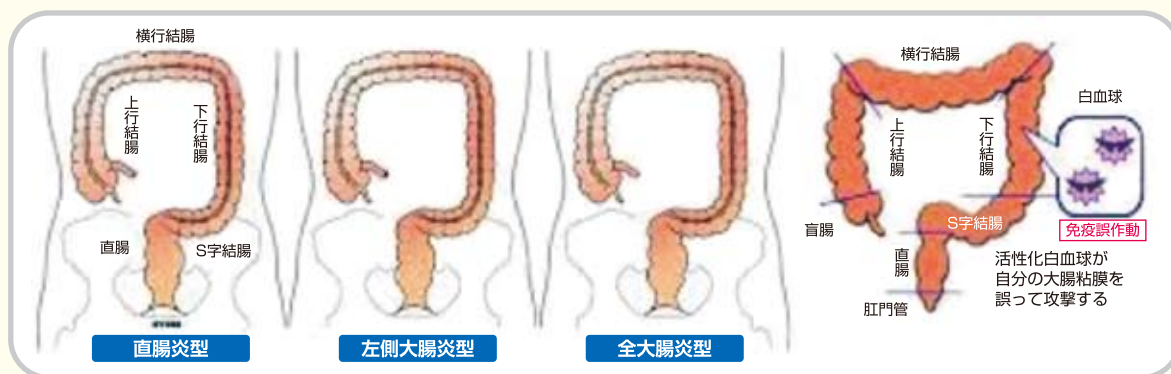
姫路市から結構距離がありますが、現在の治療法に疑問を呈している患者様は一度上記の施設への受診をお勧めします。

最後になりましたが、当院消化器内科では大学病院への紹介を行い、連携をとっております。気になる方はまず、消化器内科へ受診ください。

以上の記事は下記を一部参考とさせていただきます。よろしければご参照ください。

難病情報センター

<http://www.nanbyou.or.jp>



ちょっと

一言

♡ ドクターズクラーク (医師事務作業補助者)

ツカザキ病院 3階 ドクターズクラーク 大畑 奈央

「ドクターズクラーク (医師事務作業補助者)」という職業をご存知でしょうか？

医療現場における事務といえば、医療費を計算する業務やカルテに関わる業務などを想像されると思います。

医師が行う業務の中にも、カルテ記載や書類記入など多くの事務作業があります。記入しなければならない書類は、診断書をはじめとし、民間保険会社の医療保険・疾病保険・介護保険などの証明書類があり、その数は年々増加し、記載内容も複雑になってきています。また、同じ診断書でも保険会社間で書式や様式が異なり、さらに1人の患者様でも異なった保険会社の複数枚の診断書発行を希望されることがあります。これらの事務作業に充てる時間の割合が増加傾向にあるということが、勤務医を対象に各都道府県医師会が実施した労働実態調査からも明らかとなっています。

ドクターズクラークとは、そのような業務を医師の指示の下で代行し、医師に本来の業務である医療行為に専念してもらうことで、医療の現場の質の向上に貢献することを目的として設けられた新しい職種です。負担が軽くなった分、医師と患者さんが接する時間はより長くもてようになると期待されています。

当院の電子カルテ導入に伴い、ドクターズクラークとして脳外科・消化器内科・循環器内科に配属された私達ですが、臨床の現場に立ち会い、今まで頭で考えていたこととのギャップの大きさに気付かされました。まさに「百聞は一見に如かず」を実感する毎日です。前述の通り、私達の業務は医師の事務作業をサポートすることですが、診療科や医師によって必要とされる内容も異なる為それに応じた知識が必要であり、最初は病気や治療法を業務の傍ら勉強していきしました。とても奥深いことなので、日々勉強してさらに知識を積み重ねていきたいです。

そして初めての部署ということもあり、各科の皆様に助けて頂きながら3か月が経ちました。外来での代行オーダーや入院書類の処理等で、微力ながらようやく業務が形になってきました。これからも質の高い医療を追及する一員として貢献できたらと思っています。

最後に、病院に来院される皆様は大小の不安を抱えていらっしゃいます。私達ドクターズクラークは治療の手にはなれませんが、当院に来院される患者様・ご家族様に寄り添う心を忘れずに日々邁進していく所存です。行き届かないことも多々あると存じますが、ご指導の程宜しくお願い致します。

ツカザキ ヘルパーステーション



平成24年10月、ツカザキクリニック内にヘルパーステーションを開設しました。
住み慣れた自宅で安心して生活していただけるように、資格を持ったヘルパーが
家事や介護のお手伝いをいたします。

たとえば…

- *一人での買い物や外出をするのが不安な方
- *退院後の家庭療法に不安のある方
- *一人では入浴やトイレが困難
- *食事の準備・後片付けをして欲しい
- *病院へ一緒に行って欲しい
- *ご家族の方のお出かけ、お祖母ちゃんを一人ではほっとけない…

など、お困りのことがありましたら、
お気軽にご相談ください。

☎ 079-298-8989

サービスの内容

身体介助



- 食事の介助



- 身体の清拭・入浴の介助



- 通院、外出等の介助



- 排泄介助
(ポータブルトイレやトイレの
利用介助、おむつ交換)
- 服薬の介助
- 身だしなみの整容、洗面



- 着替えの介助、体位変換



- 特段の専門的配慮をもって
行う調理(治療食など)

生活援助



- 一般的な食事の準備・
調理・後片付け



- 洗 濯



- 薬の受け取り ● 衣類の整理・補修 ● 布団干し



- 居室等の掃除

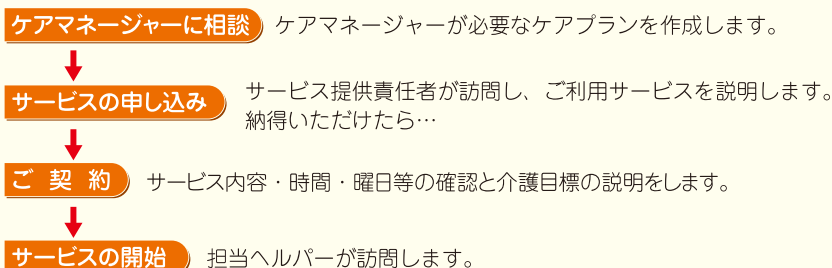


- 生活必需品の
買い物

自立支援

- 介護予防の方の、自立に向けた支援
(一緒に行う調理や家事)

サービスを受けるには



利用料金

生活援助	20分～45分	193円
	45分以上	239円
身体介護	30分	259円
	30分～1時間	410円
	1時間～1時間30分	596円
	以降30分ごとに	83円追加
*身体介護に続いて生活援助のサービスを受ける場合		
	20分～45分	71円
	45分～70分	142円
	70分以上	214円
予防介護	週1回程度	1,245円
	週2回程度	2,491円
	週3回程度	3,951円
※予防介護は1ヶ月定額制		

介護保険の訪問介護員（ホームヘルパー）は、
介護福祉士、ヘルパー資格1、2級などの資格を有し、専門的な訓練を受けています。
「家政婦」とは違いますので、「家事のすべて」をお手伝いすることはできません。

できないこと

- 利用者以外のための
洗濯、調理、買い物、布団干し
- 利用者が使用する居室等以外の掃除
- 単なる話し相手や留守番
- 来客の応接
- 自動車の洗車
- 草むしり、花木の水やり
- 犬の散歩等ペットの世話
- 大掃除、ワックス掛け
- 室内外家屋の修理、ペンキ塗り
- 大型家具、家電の移動、修理、模様替え
- おせち等特別な手間をかけて行う調理 等

ツカザキヘルパーステーション

〒670-0063 姫路市下手野2丁目4番5号（ツカザキクリニック内）

電 話：079-298-8989 FAX：079-298-8977

営業日：月曜日～土曜日 9：00～17：30

日曜日、祝日、12/31～1/3は休み ※24時間電話対応可能

研修レポート

「感染制御実践看護学講座」を受講して

ツカザキ記念病院 医療安全管理室 感染制御部 松田 有 司

ツカザキ記念病院、松田と言います。今年の春から、約6ヶ月間、東京医療保健大学大学院の「感染制御実践看護学講座」を受講し、感染制御に必要な知識を深めるため、通学していました。11月27日には修了式を終え、様々な方のバックアップやご協力のもと、「感染制御実践看護師」という認定資格を受け無事に卒業することが出来ました。最初は、6ヶ月間という期間が長く感じましたが、終える頃には、もう終わりなんだという気持ちが出てくるようになり、振り返ると懐かしさや、学校を離れるさみしさを感じていました。それは、講師の方々の熱心な指導と、著書や講演会などで遠くからしか拝見したことのないような著明な先生にお会いし、直接、講義

を聴くことができたためだと思います。また、一緒に受講していた仲間がいたからです。南は鹿児島から北は北海道まで、様々な他府県のかたが来られており、同じ目標に向かって頑張り、励ましあいながら、本当に楽しく学校生活を送ることが出来ました。

まだまだ未熟ですが、ツカザキ記念病院の感染制御に役立てるよう、精一杯、がんばっていきたいと思います。また、ツカザキ病院に在籍されている先輩方からアドバイスも受け、病院全体がよくなるように、より一層努力していきたいと思います。皆さんには、ご無理を言ったりもしますが、今後ともよろしくをお願いします。

実習体験

臨床実習を終えて

私は、10月1日から11月2日までの5週間、ツカザキ病院の眼科外来で実習をさせていただきました。

眼科外来の第一印象は、とにかくにも患者様が多い！ということでした。

実習させていただき、患者様に対する接遇と、疾患に対する専門性の高さを感じました。

接遇の面では、忙しいながらも、患者様に対して迅速にかつ、とても丁寧に対応しておられることに感動しました。誘導や介助、患者様と目と目を合わせて様子をうかがいながらの検査、疾患や年齢に合わせた説明、声かけなどがおこなわれており、患者様との接し方一つを取っても毎日が勉強の連続でした。

ツカザキ病院ではそれぞれの先生が専門分野を

大阪医療福祉専門学校 視能訓練士学科一年制過程

持っており、疾患により担当医師が違います。網膜疾患だけでも、糖尿病網膜症・黄斑部・近視・血管閉塞などの分野に細かく分かれています。他にも、緑内障・角膜疾患・涙道疾患・斜視弱視など、多くの専門の先生がおられ、臨床の面では大学病院と同じような専門性の高い医療が受けることができ、毎日様々な疾患の患者様が来られます。

その専門性の高さから視能訓練士に求められる技量も幅広くなると感じました。正確な診療・診断に必要なデータは、視能訓練士がおこなう検査が元になるため、正確な検査を常におこなう必要があります。

正確な検査をするためには、何のための検査なのかという検査の目的意識を持つこと、どのような理論に基づいてその検査がおこなわれているの

か、患者様の疾患や眼の解剖に対する知識などを全て知っておかなければなりません。

正確な検査や、患者様の「この検査は何の検査なの？」という疑問に対して答えられている様子や、「見づらい」という不自由を感じていることへのアドバイスなどをされている視能訓練士の方々を見て、自分にはもっともっと日々勉強が必要だと思いました。

実習では、実際に患者様に検査もさせていただきました。検査を通して感じたことは、患者様が答えやすいように誘導し、ベストを引き出すことは、簡単なようでとても難しいということです。

私の今の課題は、説明など患者様一人一人に合わせた対応ができるようになることです。台の高さ

が合っていない、見ていただく場所が少しずれている、それぞれの患者様に応じた検査の説明や声かけ一つでも、検査の結果に影響がでてしまいます。些細なことかも知れませんが、とても大切で、患者様を観察することの重要性を感じることができました。

最後になりましたが、熱心に御指導いただいた先生方、眼科外来の先生方やスタッフの方々、見学・検査をさせていただきました患者様方に、深く御礼申し上げます。ツカザキ病院で臨床実習ができたことは、今後の自分にとって大きな糧になると思います。この実習で学んだことを活かし、今後の実習や自分が視能訓練士になったときに役立てたいと思います。

笑顔で通じ合う

関西総合リハビリテーション専門学校 理学療法学科3年生

私は、10月15日から12月7日までの8週間、ツカザキ記念病院にて、リハビリテーションの臨床実習を行わせていただきました。その中で、実際の臨床の現場を経験させていただきたくさんのことを学ばせていただきました。

特に、検査測定・評価に関することはもちろんのこと、今回の実習では、患者様とコミュニケーションをとり、信頼関係を築いていくことの重要性が分かりました。実習前半は、患者様と会話するための引き出しがわずかしかなく、その会話から話を広げていくことも行えず、すぐに会話が終わってしまう場面が多々ありました。しかし、8週間、毎日患者様と接していく中で、徐々に会話の引き出しが増えていき、会話から更に話を広げていくということが可能になってきたと思います。また、普段の学校生活では、意識なく行えている笑いながらの会話も、患者様を意識すると笑いの無い会話となってしまう、楽しくない会話となっていました。患者様と接する機会が増えていくに伴い、会話の中で患者様に笑っていただける会話も少しずつ出来るようになってきたと思います。そして、患者様とコミュニケーションをとって

行く中で、リハビリという仕事が、一方的に、ただもくもくと、ひたすら患者様の動作や機能を回復させていくだけでなく、お互いが心の支えとなり、笑顔で通じ合うことで、悲しみや喜びを共有しながら前へ進んでいくことの大切さ・嬉しさを実感することが出来ました。しかし、このように進めていくことが難しいということも実感できました。

このように、実際に経験しないと、学校では学ぶことの出来ない、貴重な経験が行え、コミュニケーションをとる「コツ」も少しずつではありますが、掴めるようになってきたと思います。そして、このことは私の今後の経験・考えにとっても良い影響を与えてくれるものであると確信しております。

最後になりましたが、8週間実習を行わせていただき、リハビリテーション科のスタッフの方々、担当・見学させていただいた患者様、他職種の方々に心より感謝いたします。ありがとうございました。今回学んだことを忘れず糧として、患者様と笑いありの中で通じ合える理学療法士になれるよう、これから先勉学に励んでいきます。



特定医療法人 三栄会 ツカザキ病院 心臓血管センター設立

ツカザキ記念病院で1990年より循環器内科、そして1998年より心臓血管外科の診療を開始し、皆さまのご支援、ご協力のもと循環器疾患の治療に携わってまいりました。2007年に循環器内科・心臓血管外科がツカザキ記念病院より網干のツカザキ病院に移動し、今年で5年になります。このたび2013年新館増築に際し、更なる地域医療への貢献を目指し「心臓血管センター」を開設する運びとなりました。

これまでの虚血性心疾患、心不全、不整脈、大動脈・末梢血管の症例に加え、新たに胸腹部大動脈瘤に対するステントグラフト治療の実施施設に認定され、透視装置を手術室に設置し、より低侵襲な血管内治療、大動脈瘤に対するステントグラフト留置治療も行っております。

また、心臓カテーテル検査に比べてはるかに少ない侵襲で虚血性心疾患の診断を行うことができる64列MDCTによる冠動脈造影は不安定狭心症、虚血性心疾患の診療で活躍しています。

末梢血管に対する血管内治療や下肢静脈瘤に対するレーザー治療、重症下肢虚血に対する足壊疽のフットケアを含む総合的な治療も積極的に行っています。

以前より循環器内科医、心臓血管外科医ともに密接な連携のもと診療にあたっておりましたが、「真のチーム医療」の実現を目指して、循環器内科医4名、心臓血管外科医3名、麻酔科医2名の常勤医、非常勤医師と看護師、臨床工学技士、臨床検査技師、薬剤師、理学療法士、ケースワーカーなど様々なスタッフとより連携を深め、コミュニケーションを保ちつつ、循環器救急疾患、心臓・大血管・末梢動静脈の治療に24時間、365日、患者さまによりよい医療を提供できます様に頑張っております。

今後ともご指導、ご支援のほどよろしくお願いいたします。

敬具

2012年12月吉日



冠動脈CT



冠動脈CT
(冠動脈バイパス術後造影)



下肢静脈瘤レーザー治療前



下肢静脈瘤レーザー治療後



治療前



スチント
治療後

胸部大動脈瘤ステントグラフト

心臓血管センター診療医師担当表 H24.11.1～

		月	火	水	木	金	土
午前 外来	循環器科	楠山	河野	飯田	坂口	竹下	交代制 (初診のみ)
	心臓血管外科		三井	金光		山田	

特定医療法人 三栄会ツカザキ病院 心臓血管センター

循環器内科 飯田 英隆、河野 浩明、楠山 貴教、竹下 宏明
心臓血管外科 山田 幸夫、三井 秀也、金光 仁志
麻酔科 西村 光生、牧野 志保

〒671-1227 姫路市網干区和久68-1 TEL 079-272-8555 FAX 079-272-8550

職員旅行

ツカザキ記念病院 外来クラーク
嘉 納 なつみ

東京ディズニー
リゾート

4月に入職し11月17、18日に初めての院内旅行に行ってきました。

初めての院内旅行でどんな感じなんだろうと不安がありましたが、やはりディズニーランドはすごかったです。舞浜駅に降りた瞬間から不安を忘れてしまうほどのかわいいディスプレイで、ワクワクさせられてばかりでした。

いざ、ディズニーシーの中に入ると「夢の世界」一色で、とても感動しました。その中でも、一番感動したのはレジェンド・オブ・ミシカのショーでした。とても、迫力がありスケールの大きさに圧倒されてばかりでした。ミッキーやミニー、その他のキャラクターがいっせいにでてきて踊ったりする姿はかわいくて見るだけで幸せな気分になりました。

また、大好きなアトラクションに乗るために長時間並びましたが、並んでいる間に職場の人達と楽しく会話し、待ち時間もまったく苦痛になりませんでした。普段、職場ではしないプライベートな話もでき、より打ちとけることが出来たように思います。ショーやアトラクションを見るために、走りまわって帰る頃には筋肉痛でしたが、それも含めて良い思い出ができました。



何度もディズニーには家族や友達と旅行で行きましたが、社会人になってから行くディズニーは、今までただ楽しんでいただけの旅行とは違ったものになりました。ゴミがまったく落ちていないところやディズニーのスタッフの方々の子供や大人それぞれにあわせた気遣いの仕方など、見習わなければならないところがたくさんあると感じさせられました。

今回の旅行を通して、職場の方々と親睦が深められたと同時にディズニーのスタッフから学ぶことも数多くありました。学んだことを活かし、来年の院内旅行を楽しみにしてこの一年頑張っていきたいです。





職員旅行

ツカザキ病院 診療情報管理室

淵 崎 美 香

平成24年11月10日・11日、本年度第1班として河口湖方面への院内旅行へ行ってきました。前日の天気予報では1日目晴れ、2日目は雨。みんなの日ごろの行いの良さ？に2日とも晴れになることに掛けて出発しました。

出発時は若干曇りがちでしたが、東へ進むうち雲も晴れ、綺麗な富士山が見られました。幸先の良いスタートです。

熱海につきバスに乗り換え、最初の目的地である元箱根港(芦ノ湖遊覧)へ向かいました。暑いぐらいの秋晴れの土曜日、甲信越地方は絶好の行楽日和です。ということは、行楽客・車が多いということで、乗船時刻までに元箱根港に着けないかもしれないため、行き先が一つ前の乗船港である箱根関所跡港へ変更となった。これがトラブルの始まりでした。港を目の前にしてバスは動かなくなってしまった。なんとか港の駐車場へバスが停車すると同時にみんなでダッシュ!! しかし遊覧船は桟橋を離れて行ってしまった。急ぎバスに戻り元箱根港へ向かいますが、やはり渋滞に巻き込まれ、乗船時刻に間に合わず芦ノ湖遊覧は断念となってしまいました。

遊覧船の後ろ姿を時折垣間見ながら箱根ロープウェイの桃源台駅に到着。若干紅葉の進んだ雄大な山の風景を眺めながら、2駅先の大涌谷駅まで空中散歩を満喫しました。ここでも綺麗な富士山を見ることができました。

大涌谷はサスペンスドラマの舞台になりそうな荒涼とした大地からモクモクと白い煙が立ち昇り、迫力のある風景が広がっていました。しばらく散策した後、集合場所へ行ってみるもバスの姿がありません。待てど暮らせど一向にバスはやって来ず、標高の高い山の気温はどんどんと下がっていき、心地よい秋風がやや冷たくなってきた頃にやっとバスが登ってきました。

1日目最後の観光先である忍野八海は、到着することには真っ暗になってしまっている可能



性が高いということで、2日目に順延となり、一路河口湖畔のホテルへ。ハプニング続出の1日目はおいしい料理と温泉に癒されて終了となりました。

近頃の天気予報は的中率も高く、2日目は怪しい天気で始まりました。起床時には富士山は曇り空に隠れていましたが、朝風呂をいただいているとその姿を見せてくれました。もしやこのまま天気は持ってくれるかと期待しながら観光スタートです。朝も早くからワインセラーにて試飲のワインをいただきご満悦気分。順延となった忍野八海もどこまでも青い澄んだ水を覗き込むことができました。と、ここまでは良かったのですが、やはり天気予報は当たっていて雨が降ってきました。

雨の中観光は続き、青木ヶ原樹海を突っ切り車窓より紅葉を見ながら鳴沢氷穴へ到着。探検と言うにふさわしい薄暗い洞窟下っていき、低い天井にあちこちからゴツンゴツンと音が聞こえ、病院職員ならではの「1ヶ月後はみんな僵硬だー」などと言いながら氷柱や夏でも溶けないという氷の塊を見学。日頃の運動不足のせいか足がガクガクしながら地上へと生還しました。

全ての観光を終了し、元気な富士急ハイランドチームと合流、1日目を教訓に早め早めの移動にて無事新幹線に乗ることができ姫路へと帰って来ました。勤務も長くなってくると旅先も2日目・3日目となってきますが、今度はどんな企画を立ててくださるか楽しみです。





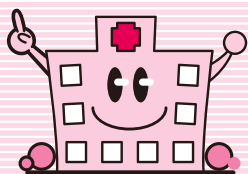
お月見会

ツカザキ記念病院

9月13日（木）18：30より1Fロビーにて、お月見会が行われました。

参加された方には、お抹茶とお菓子がふるまわれ、フルートや琴の演奏に、みなさんゆったりとした時間を過ごされたようでした。100名近い方にご参加いただき、大盛況に終わりました。演奏下さった方々やスタッフの皆さん、お疲れ様でした☆





職員紹介



ツカザキ記念病院 リハビリテーション科 理学療法士 **嶋尾 知 咲**

初めまして。今年の4月より、3階リハビリテーション科に勤務させていただいております、嶋尾知咲と申します。

早いもので、入職してから7ヶ月が経ちました。思えば、中学2年生の頃トライやるウィークで伺った病院先で私は理学療法士に憧れを抱きました。患者様と共に明るく、前向きなリハビリを私もしたいと、そう感じた事が全ての動機です。高校では福祉科を卒業し、専門学校に入学しました。たくさんの先生方にお世話になり、今年の春、晴れて長年の夢を実現する事ができました。しかし、私にはもう1つ夢があります。患者様にこの人

とリハビリをして良かった、と思っていただけるような理学療法士になる事です。患者様の気持ちに理解を示し、一緒に目標に向かってリハビリを行う事は、簡単なようで非常に難しいと感じています。患者様に、少しでも有意義なリハビリの時間を過ごしていただけるように、日々精進していきたく思います。新人の何も分からない私に、たくさんのご指導をくださる職場の先輩方、多職種の皆様、患者様に感謝の意を忘れず、夢に向かってこれからも精一杯頑張っていきたいと考えますので、どうぞ宜しくお願い致します。

ツカザキ病院 手術室 看護師

香 山 純 子

H24年7月より手術室で勤務しています、香山純子です。

入職して5ヶ月が経とうとしていますが臨床には3年のブランクがあり、そのうえ経験のない脳外科や心臓血管外科もあるので入職を決めた際には不安もありました。

実際に勤務し始めてまず驚いたのは手術件数の多さです。眼科では月曜日から日曜日まで毎日手術があり、他の科でも緊急手術がたくさんあります。新しく覚えなければいけないことも多く毎日がとても大変です。

でも、師長・主任・プリセプターをはじめ、他のスタッフの方がみんな丁寧に指導してくださるので、わからないことがあればその場で聞き、解決することができます。

ようやくツカザキ病院で慣れてきたころです。まだまだこれからたくさん覚えなければいけないことがあるので他のスタッフに追い付けるよう、頑張っていきたいと思っています。

ツカザキヘルパーステーション 介護福祉士

新 田 美 智 子

はじめまして。

平成24年10月にツカザキクリニック内に新しく開設になりました、ヘルパーステーションに勤務させて頂いております新田です。

利用者様があるのかどうかと不安に感じていましたが、幸いなことに早い段階で利用者様を紹介して頂き、日々訪問させて頂いています。

以前は、訪問介護員として働いていたのですが、今回、サービス提供責任者という大役を賜りました。

訪問だけでなく、ヘルパー指導や計画立案等今までに経験したことのない業務が待っていましたが、管理者を始め皆様の協力の下、頑張ってお仕事をさせて頂いています。

在宅事業部の一員として、誇りある介護サービスを提供していきたいと思っております。温かい目で見守ってくださいますようお願い致します。

A LA CARTE

アラカルト

食事で健康寿命を延ばそう

年を取ると、骨や筋肉、関節といった運動器の機能が老化します。衰えて介護が必要になった状態、また、そのリスクが高まった状態を「ロコモティブシンドローム」（運動器症候群）と言います。（以下、ロコモ）

ロコモの予防のためには、ウォーキングや体操などの適度な運動と食生活が大切です。

ロコモ対策に重要な二大栄養素は、それぞれ骨と筋肉をつくるカルシウムとタンパク質です。カルシウムは牛乳が代表的ですが、小松菜などの緑黄色野菜、ヒジキなどの藻類にも含まれています。乳製品、大豆製品は、カルシウムとタンパク質が同時に摂れる便利な食品です。

カルシウムの吸収を促進するビタミンDは魚類やキノコ類に豊富に含まれています。魚類ではサケやサンマ、キノコ類ではシイタケやキクラゲがお薦めです。

骨質を良くする栄養素として注目されているビタミンKは骨粗しょう症の予防にもなり、納豆、ホウレンソウに多く含まれています。

また、ビタミンB群の一つ、葉酸も骨質の低下を防ぐのに重要です。ホウレンソウなどの緑黄野菜や卵に含まれています。野菜や果物に多いビタミンCは、骨や軟骨に含まれるコラーゲンを作ります。

運動で刺激を与えれば骨や筋肉、関節は自然に上記の栄養を求めるようになり、運動器はおのずと強くなります。“健康寿命”は確実に延びます。

放射線被爆の話し

福島県飯舘村で現役の放射線医学の専門医が子どもたちに授業をする「ドクタービジット」が開催された。

中川恵一・東京大准教授による「放射線を知ろう」というテーマで「現在の福島放射線量は、

世界的に見ても決して高くない。安心してほしい」と語られました。

放射線を浴びると遺伝子が傷つき、ガンになることがあります。でも私たちは、元々放射線を浴びながら暮らしてきました。傷ついた遺伝子を治す力もちゃんと持っています。

私たちは、地球の内部等からの放射線を常に浴びています。原発事故とは関係なく、日本人は年間約2ミシーベルト被爆しています。これを自然被爆と言い、米国では約3ミシーベルト、フィンランドでは7.5ミシーベルトです。

平均的な日本人の年間被爆量は約6ミシーベルトです。自然被爆の2ミシーベルト以外に病院の検査で4ミシーベルトを浴びているからです。いつでもどこでも良い医療を受けられる日本は、病院での被爆量が世界一多いけれど、世界で最も長生きの国です。

福島県民の外部被爆量を調べた最新のデータによると、住民の99%が10ミシーベルト未満で、60%の人は1ミシーベルト以下です。現在の福島は、世界的に見ると決して被爆量が高いわけではありません。

世界の専門家が慎重に検討を重ねた結果、年間10ミシーベルト以下の被爆なら、子どもでもガンになる危険性は増えないと考えていいということになっています。大人なら20ミシーベルトまでは安心していい。逆に100ミシーベを超えると危険ということもわかってきました。

これらのことを考えると、福島でガンが増える理由はありません。

おかしい情報に惑わされないようにして欲しいと締めくくられた。

肺 炎

肺炎で亡くなる人が脳血管疾患を抜き、日本人の死因の3位になった。

昨年の全国の死者数はガンが1位、心疾患が2

アラカルト

A LA CARTE

位。次いで肺炎が約12万5千人で、増加が著しく、脳血管疾患を上回った。

肺炎は肺胞に炎症が起きる、ありふれた病気です。肺炎で亡くなる方は97%が65歳以上で、年をとるほど肺炎による死亡率が急激に高くなります。「高齢者の最大の敵」といえます。

人は年とともに気管支の防御能が下がりっており、さらに高齢者は栄養状態も悪いため、風邪くらいと軽く見ていると肺炎を起こし、急激に悪くなることがあります。

口の中の細菌が気管支に流れ込む誤嚥性肺炎も要注意です。高齢者は咳をして異物を外に出すことも十分できないからです。

インフルエンザの流行時には肺炎も増えるため、冬の病気と思われがちですが、肺炎で亡くなる方は夏でも冬の7、8割あり、年中発生する病気です。

肺炎防止の6ヵ条

- ①規則正しい健康な生活：食事をよく摂って栄養を確保し、寝不足も避ける。
- ②禁煙：たばこを吸うと風邪をひきやすくなります。
- ③誤嚥を防ぐ：食物が肺に流れ込まないように。
- ④口の中を清潔に：よく歯磨きをして清潔にしておく。
- ⑤持病を治療：ぜんそくや糖尿病などをしっかり治療しておく。
- ⑥肺炎球菌ワクチンの接種：肺炎の3割は肺炎球菌が原因です。

医療ニュース 1

ビールのホップで筋肉の老化防止

ビールの原料、ホップに含まれる成分に筋肉の萎縮や老化を抑える効果があることを、徳島大学（食品機能学）らのチームが発見した。寝たきりなどで筋肉が衰えるのは、筋細胞内で特定の酵素（ユビキチンリガーゼ）が増えることが一因。マウスを使った実験で、ホップの成分を与える

ことで、筋肉内に酵素（ユビキチンリガーゼ）の発生量が約60%抑えられた。

クワ科の多年草であるホップの効能は昔から知られています。鎮静作用や食欲増進作用を持つ複数の機能性物質であるとみられ、研究が進んでいます。今回調べた成分もその一つで、ビールの製造過程や腸に吸収されるときに増加します。

ただ実験でマウスが1日に摂取した量は、体重50kgの人間に換算すると、少なくとも約80%のビールに匹敵します。「マウスには短期間で多量に与えたが、人間の場合、過剰摂取は必要なく、長期わたる習慣的なビールの摂取でも、筋肉の老化防止効果ができる」今後、この成分を多く含むビールやサプリメントの開発につながる可能性があります。

医療ニュース 2

皮膚、温めてしわ防止

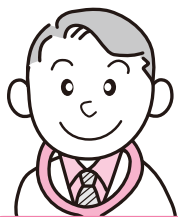
慶応大薬学部のチームが、皮膚をお湯で温めると、細胞を保護するタンパク質が増え、紫外線によるしわを防げることをマウスの実験で発見した。

チームは「人も紫外線を浴びる前に蒸しタオルなどで肌を温めると、しわを防ぐことができるかもしれない」とし、人での実験も計画しています。

マウスの実験で体温とほぼ同じ37度のお湯では効果がなかったが、42度のお湯では、熱のストレスに応じて細胞の中でHSPというタンパク質が増え、しわはほとんどできなかった。

また、遺伝子を操作して、熱によるストレスがなくてもHSPを作れるようにしたマウスでも、しわができにくかった。





当院のドクター

はじめまして

平成24年9月より循環器内科に勤務している河野です。

隣の高砂市の出身で、いつかは地元で地域医療に貢献したいという思いで帰ってきました。

ツカザキ病院の職員の方々に暖かく迎えて頂き、伸び伸びと仕事をさせてもらっています。

“患者さんのために 患者さんと共に”をモットーに頑張りたいと思います。

どうぞよろしくお願いします。



ツカザキ病院
循環器内科

河野 浩 明

学会発表

ツカザキ病院

8 月	18日	宮本 麻矢	兵庫県看護協会 第8回研究発表会(神戸)【発表】
	24~26日	下川 宣幸	Summer Forum for Practical Spinal Surgery 2012 in Spporo(札幌) 【座長/発表/世話人会】
	24~26日	森迫 拓貴	Summer Forum for Practical Spinal Surgery 2012 in Sapporo(札幌)【発表】
	24~26日	中尾 弥起	Summer Forum for Practical Spinal Surgery 2012 in Sapporo(札幌)【発表】
9 月	30日	下川 宣幸	第18回 東播磨脳神経外科懇話会(明石)【座長/世話人会】
	1日	牧野 志保	第58回 関西支部学術集会(大阪)【発表】
	1日	下川 宣幸	第45回 脊椎外科同好会(長崎)【発表】
	6~9日	下川 宣幸	3rd Annual Meeting of Asia Spine(台湾)【講演】
	8・9日	長澤 利彦	第29回 瀬戸内硝子体クラブ(徳島)【発表】
	14・15日	下川 宣幸	第19回 日本脊椎脊髄神経手術手技学術学会(青森)【座長/発表/理事会】
	29日	下川 宣幸	第2回 中国四国脊髄外科症例検討会(広島)【発表】
10 月	29日	三井 秀也	第18回 神戸Podiatryミーティング(神戸)【発表】
	6日	下川 宣幸	第66回 近畿脊髄外科研究会(大阪)【座長/発表/世話人会】
	6日	森迫 拓貴	第66回 近畿脊髄外科研究会(大阪)【発表】
	6日	中尾 弥起	第66回 近畿脊髄外科研究会(大阪)【発表】
	6・7日	正条 智広	第13回 日本ロービション学会学術総会(東京)【発表】
	6・7日	津嶋 悠里	第13回 日本ロービション学会学術総会(東京)【発表】
	7~12日	長澤 利彦	アフリカ眼科医療を支援する会(モザンビーク共和国)【眼科医療ボランティア】
	17~19日	下川 宣幸	第71回 日本脳神経外科学会学術総会(大阪)【指定講演】
	17~19日	中尾 弥起	第71回 日本脳神経外科学会学術総会(大阪)【発表】
	24~26日	下川 宣幸	第47回 日本脊髄障害医学会(静岡)【座長/発表】
	24~26日	中尾 弥起	第47回 日本脊髄障害医学会(静岡)【発表】
	25~28日	田淵 仁志	第66回 日本臨床眼科学会(京都)【セミナー講師】
	27日	森迫 拓貴	第173回 兵庫県外科医会学術集会(姫路)【発表】
11 月	1・2日	下川 宣幸	第21回 日本脊椎インストゥルメンテーション学会(神戸)【発表】
	8・9日	下川 宣幸	The 6th Asia Pacific Cervical Spine Society(タイ)【発表】
	11日	下川 宣幸	第1回 O-arm Users Meeting(東京)【招待講演】
	17・18日	永里 大祐	第7回 硝子体セミナーin四国(香川)【発表】
	17日	三井 秀也	第11回 岡山血管治療を語る会(岡山)【発表】
	19~21日	下川 宣幸	Nates Easy Spine Training(フランス)【招待参加】

・表・紙・
・写・真・

雪景色

島根県出雲大社の西にあり、国譲り、国引きの神話で知られる稲佐の浜にある弁天島。

患者様の権利

1. あなたは、宗教・思想・国籍その他の個人的な背景にこだわらず、平等に医療を受けることができます。
1. あなたは、医療の内容について、あなたが理解できるように説明を受け、又あなたの希望を述べることによって、十分な納得と同意の上で、適切な医療を受けることができます。
1. あなたが他の診療科や病院の医師に意見を求めたい場合、他の医療機関、施設に移りたい場合は、ご遠慮なくお申し出下さい。その場合は、必要な情報をご提供いたします。
1. 私たちが医療上知り得たあなたの個人情報保護されます。
1. 私たちは患者様の人生が最後まで豊かでありますように、可能な限り努力します。
1. 皆様に気持ちよく療養して頂く為にも院内の規則を守るなど、ご協力をお願い致します。

三栄会理念

- 1、医療は患者のためにあるという信念をもって生命の尊重と人間愛を基本とし、地域医療に奉仕する。
- 2、医療人として学識、技術の錬磨に励み、人間的にも自己研鑽を怠らず、相協調して医療の高揚に努める。
- 3、職員相互の人格を尊重し、経営の安定の下に、進取の気性をもってことに当る。

看護部の理念

- 1、病院の目指す理念に沿って地域社会の変動、医療の進歩に伴い、その要請に応じた看護を提供する。
常に相手の立場に立ち、その信条、人格、生活、権利を尊重する。
患者のもつ潜在治癒力を最高に引き出す努力と個々のニーズに応じた看護を提供する。
- 2、専門職として常に看護の本質を迫及し、科学的、創造的、かつ主体的に学習し、臨床の場は常に教育の場であることを認識して行動する。
- 3、当院の看護婦として、誇りを持ち心身の自己管理と保持増進に努め、自己の能力の開発に努力して、品性を高める責任を担う。

患者様・ご家族の皆様へ

当院では、皆様のご意見や苦情などをお受けする“意見箱”を外来や病棟に設置しております。
どのようなご意見でもいただければ幸いです。
皆様のご意見を尊重させていただき、改善への参考にさせていただきたいと思っております。



特定医療法人 三栄会

ツカザキ病院

診療科目

- 外科
- 脳神経外科
- 消化器外科
- 心臓血管外科
- 呼吸器外科
- 内科
- 消化器内科
- 循環器内科
- 神経内科
- 眼科
- 整形外科
- 乳腺外科
- 泌尿器科
- 人工透析内科
- 麻酔科
- 放射線科
- リハビリテーション科
- 脳ドック

〒671-1227 姫路市網干区和久68-1

電話 (079) 272-8555 代

- 電車…JR網干駅南口下車、徒歩約15分
- バス…「ツカザキ病院前」にて下車
- 車…太子龍野バイパス福田ランプより南へ約15分

ツカザキクリニック

- 放射線科(PET-CT)
- 人工透析内科

〒670-0063 姫路市下手野2丁目4番5号

電話 (079) 298-8555

- バス…JR・山陽姫路駅よりお越しの方…「下手野」にて下車
西から姫路駅行きでお越しの方…「下手野」にて下車
- 車…中地ランプを北へ車崎南の交差点を左折、
国道2号線を西に直進、JR播磨高岡駅を過ぎ右手

ツカザキ記念病院

診療科目

- 内科
- 消化器内科
- 呼吸器内科
- 内視鏡内科
- 人工透析内科
- 神経内科
- 循環器内科(外来のみ)
- 心臓血管外科(外来のみ)
- リハビリテーション科(回復期リハビリ病棟)
- 放射線科
- 人間ドック(内科・脳ドック)

〒670-0053 姫路市南車崎1丁目5番5号

電話 (079) 294-8555 代

- 電車…JR姫路駅(北側)、山陽姫路駅にて下車、徒歩約30分
- バス…JR・山陽姫路駅よりお越しの方…「石ヶ坪」にて下車
西方面からお越しの方…「車崎」にて下車
- 車…姫路バイパスよりお越しの方
中地ランプを北へ「車崎南」の交差点を左折、
次の信号「土山」右折
国道2号線よりお越しの方
東行き(一方通行)「車崎」の交差点を右折、
次の信号「土山」の角

ツカザキ在宅事業部

〒670-0063 姫路市下手野2丁目4番5号

ツカザキ訪問看護ステーション

電話 (079) 299-1185

ツカザキヘルパーステーション

電話 (079) 298-8989

ツカザキ居宅介護支援事業所

電話 (079) 298-8701

ビタミン誌 新年号

発行所 特定医療法人 三栄会

ツカザキ病院

ツカザキクリニック

ツカザキ記念病院

ツカザキ在宅事業部

発行責任者 岸本 健太郎

印刷所 株式会社 ティー・エム・ピー

ホームページ <http://www.tsukazaki.or.jp>